

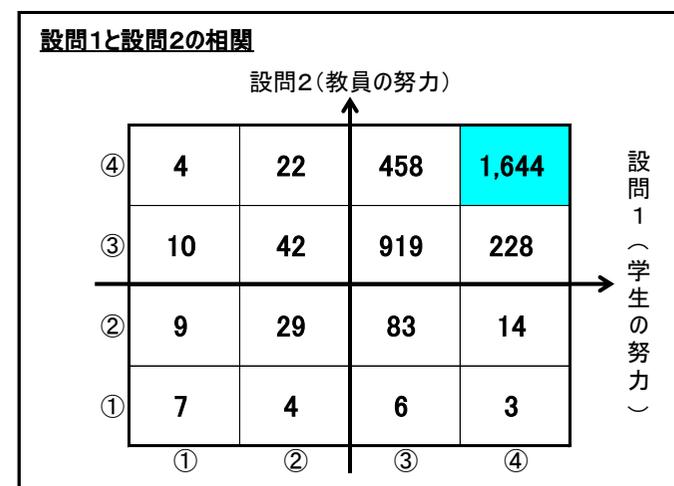
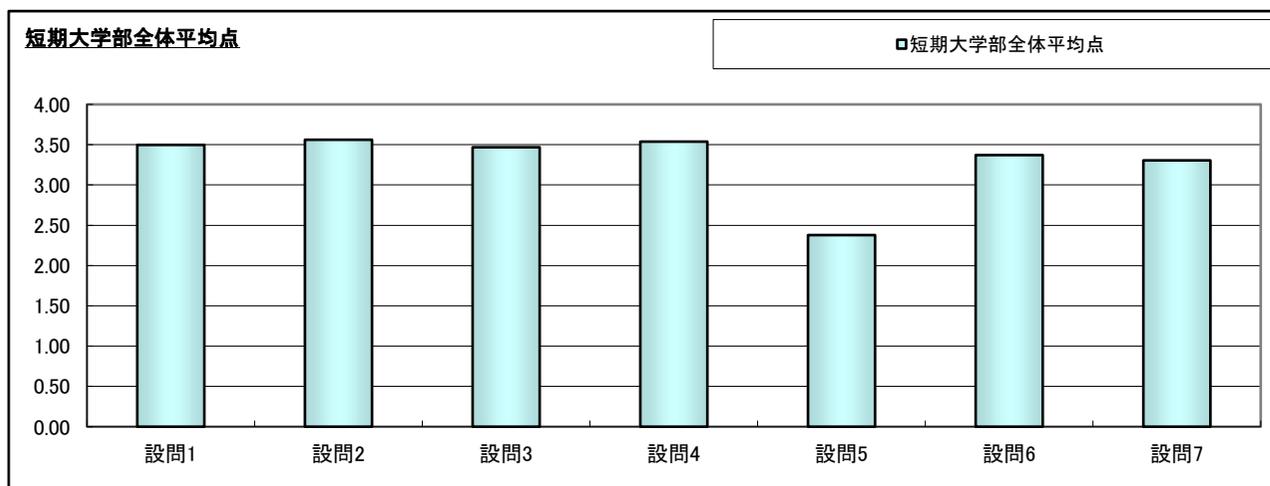
2018年度 前期 授業についての学生アンケート集計結果(全体)

松本大学

集計	短期大学部
----	-------

履修人数	3,816
回答者数	3,484

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業(必修、選択は問わない)内容を理解することに積極的でしたか。 ④積極的に理解しようとした。③理解しようとした。②あまり積極的ではなかった。①理解よりも単位取得が主目的だった。	3.50	1,889 54.3	1,466 42.1	97 2.8	30 0.9	2	3,482
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④強く感じた。③やや感じた。②あまり感じなかった。①まったく感じなかった。	3.56	2,130 61.1	1,199 34.4	135 3.9	20 0.6	0	3,484
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.47	1,918 55.1	1,312 37.7	218 6.3	35 1.0	1	3,483
4	教員は良い学習環境(私語に対する注意や安全面への配慮など)を保っていましたか。 ④良い学習環境だった。③ある程度良い学習環境だった。②あまり良い学習環境ではなかった。①良い学習環境ではなかった。	3.54	2,041 58.6	1,293 37.1	131 3.8	18 0.5	1	3,483
5	この授業のために、授業時間以外に毎週平均的にどれくらいの学習時間(予習・復習・レポート・実習・試験勉強など)をもちましたか。 ④1時間以上③30分以上～1時間未満②15分～30分未満①15分未満	2.38	651 18.7	946 27.2	947 27.2	933 26.8	7	3,477
6	授業をよりよくするために実施された中間アンケート調査など、寄せられた要望について、その後の授業で反映されていましたか。 ④よく反映されていた。③ある程度反映されていた。②やや反映されていた。①反映されていなかった。	3.37	1,607 46.5	1,576 45.6	222 6.4	51 1.5	28	3,456
7	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.31	1,355 39.0	1,853 53.3	244 7.0	25 0.7	7	3,477



区分	短期大学部
----	-------

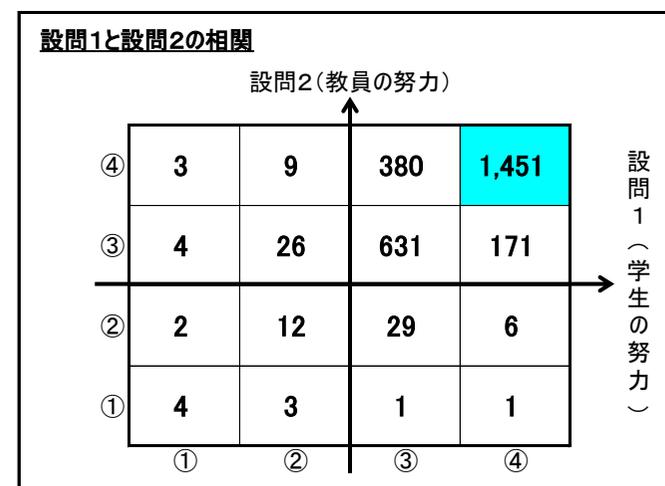
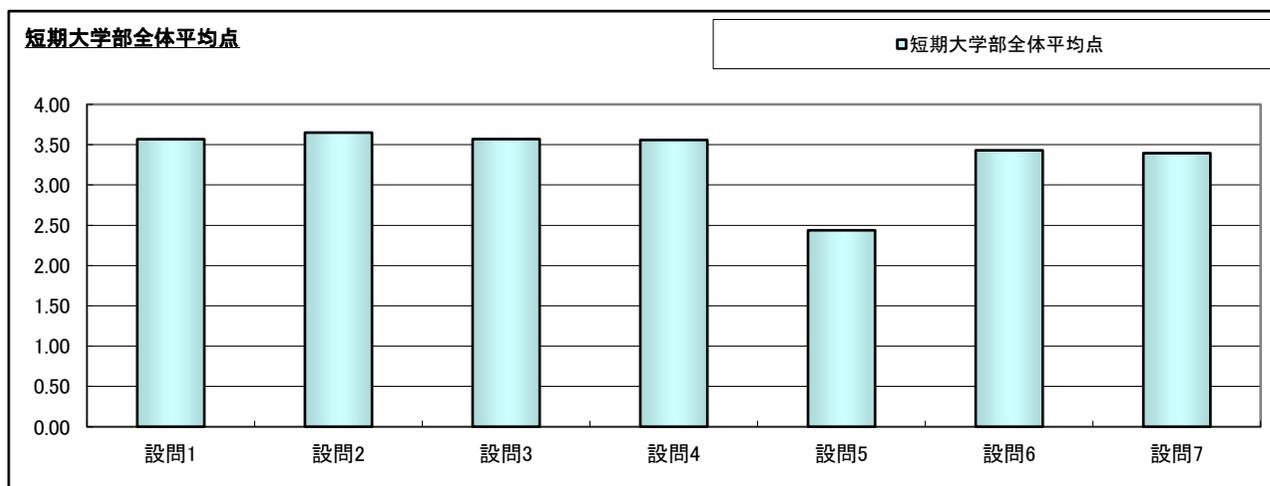
改善計画等

設問1と設問2の評価は共に3.5を超えており、両者の相関においても第1象限に数字が集まっている。このことは、学生と教員が共に積極的に授業に参加し、教員は授業を理解させ、学生は授業を理解しようと努力した結果と考えることができる。したがって、短大部の雰囲気として、学修を進める良い環境が整備されているといえよう。このことは設問4における評価が3.5を超えていることから判断することが可能である。しかしながら他方で、授業外学修時間の評価である設問5においては、2.38と15分以上で1時間未満の学生が中心になっている。このことは、単位制度の実質化の観点から問題であり、1時間以上の授業外学修時間の確保が求められる。現在、AP補助事業の推進の観点からルーブリックに基づくコンピテンス評価や4学期制対応の授業展開等、本学は大きな転換期にある。そのため劇的な改善は見込めないものの、「出席レポート」の在り方の再検討、資格・検定試験対策系の科目等における課題の在り方など、徐々に授業外学修時間の質と量を充実させる施策について検討を進める必要がある。すなわち、来年度はAP補助事業の最終年度のためAP補助事業での取り組みが中心となるが、平成32年度以降は4学期制や、アクティブラーニング等の新しい教育手法の導入の効果の検証に加えて、授業外学修の質と量の充実を図る教育手法の開発を進める計画である。

集計	短期大学部
----	-------

履修人数	3,110
回答者数	2,736

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業(必修、選択は問わない)内容を理解することに積極的でしたか。 ④積極的に理解しようとした。③理解しようとした。②あまり積極的ではなかった。①理解よりも単位取得が主目的だった。	3.57	1,630 59.6	1,041 38.1	50 1.8	13 0.5	2	2,734
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④強く感じた。③やや感じた。②あまり感じなかった。①まったく感じなかった。	3.65	1,845 67.5	832 30.4	49 1.8	9 0.3	1	2,735
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.57	1,667 61.0	967 35.4	88 3.2	11 0.4	3	2,733
4	教員は良い学習環境(私語に対する注意や安全面への配慮など)を保っていましたか。 ④良い学習環境だった。③ある程度良い学習環境だった。②あまり良い学習環境ではなかった。①良い学習環境ではなかった。	3.56	1,628 59.6	1,010 37.0	84 3.1	9 0.3	5	2,731
5	この授業のために、授業時間以外に毎週平均的にどれくらいの学習時間(予習・復習・レポート・実習・試験勉強など)をもちましたか。 ④2時間以上、③1時間以上～2時間未満、②30分以上～1時間未満、①30分未満	2.44	549 20.1	765 28.0	745 27.3	669 24.5	8	2,728
6	授業をよりよくするために実施された中間アンケート調査など、寄せられた要望について、その後の授業で反映されていましたか。 ④よく反映されていた。③ある程度反映されていた。②やや反映されていた。①反映されていなかった。	3.43	1,405 51.6	1,124 41.3	154 5.7	40 1.5	13	2,723
7	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う。③ややそう思う。②あまりそう思わない。①そうは思わない。	3.40	1,238 45.4	1,348 49.4	126 4.6	17 0.6	7	2,729



区分	短期大学部
----	-------

改善計画等

まず、設問1の受講生自身の学修態度（学生の努力）と設問2の教員の熱意と意欲（教員の努力）の相関を見ると、両者とも④で数値が最大になっており学生と教員が積極的に授業に取り組んだと判断できる。特に、設問2が7つの設問の中で一番高い平均点になっていたことは、受講生が「学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じ」ながら授業に参加していたと考えられる。このことは、学生と教員の積極的な参加によりより良い授業が展開できると考えられるので、本学での授業は望ましい状況にあると評価できる。また、設問の1から4は、授業そのものに関係することであるが、全て平均点が3.5を超えており、相対的に授業についての満足度は高いと判断できる。

他方で、設問5から設問7は“授業外学修時間”、“授業改善のための要望”、“学修到達目標の達成感”であり、授業そのもの以外についての評価である。まず、設問5の授業外学修時間は依然として平均点3.0以下であり、1科目当たり30分未満と回答した学生が24.5%いることは、単位認定の厳格化の点で問題であろう。現在、本学では文部科学省の「大学教育再生加速プログラム（通称：AP）」に採択されたのを機に教育改革を行っているおり、徐々にではあるが授業外学修時間は増加傾向にあるが、この改革を更に進めていく必要がある。また、設問7のシラバスに示されている各科目の学修到達目標の達成についても、本アンケート結果からは7つの設問の中で一番低い評価になっており、何故目標を達成できなかったのかが問題になる。本学では、学生の“主体的学び”の育成や本学で育成される“知識・技術・能力”の明示の観点から、1年生の第1学期に本学での学修の意味や本学の教育手法・教育評価に関する授業を開講している。しかしながら、本学で学修する意味等についての理解がまだ進んでいない可能性もあろう。今後は、本学での学修について、また各科目の達成目標についての周知を更に進めるとともに、何故学修目標が達成できなかったのかについての検証が必要であり、今後の課題となっている。